

問 「ゼロ・カーボンシティ宣言」について、本市だけが2030年とした理由は、カーボンニュートラルを実現しうる国内屈指の素地があることから、全国に先駆けて脱炭素社会の姿を示していくべきと考え目標を設定した。



カーボンニュートラルに向けた取組みについて

問 2030年実現の可能性は。

答 推計値から、7万3千トンの二酸化炭素削減が必要だが、市内の消費電力の80%に相当し、これを地域の再エネに切り替えることで実現が可能である。また、自家消費型再エネ電源の導入や電気自動車への更新などを加味すれば十分達成できると考えている。

問 今後の状況と将来の見通しは。



録画配信はこちらから

質問した項目

- 自治体DXの推進について
- カーボンニュートラルに向けた取組みについて
- コロナ禍における子供への影響について

戸田 芳孝 議員 (鹿山会)

質問時間 45分

問 参院選では県内最低の投票率となったが、大幅な制度変更による影響の検証と今後の対応は。今回の投票率低下を重く受け止め、12月末までに(仮称)鹿角市投票率向上推進計画を策定する。



官製談合事件への対応及び入札不正防止対策について

質問した項目

- 官製談合事件への対応及び入札不正防止策について
- 今年の参議院議員選挙から適用された、選挙区再編と大幅な投票方法変更について
- 鹿角市の「共働」について
- 3歳以上の保育園児への主食提供について ほか

問 同じ入札に参加した者同士(相指名業者)間における下請負への対応状況は。

答 入札談合や一括下請負につながる危険性から、聞き取り調査で状況を把握している。一定の制限が必要であり、関係規定の整備を進めていく。

市の公共交通の利便性向上について

問 来年4月に新たなクリニックが開業する予定だが、医療機



録画配信はこちらから

答 関へのアクセス向上のためたんぼこまち号のルートを修正する考えはあるか。

答 ルート変更による利便性の向上が期待できる。

問 このことから、国・県・及び事業者等で組織する「地域公共交通活性化協議会」で対応を検討していく。

保育園給食について

問 3歳以上の給食について、食育・衛生面・家庭環境への配慮から、主食(ご飯)も提供すべきでは。

答 保護者からの要望もあり、検討を進めている。実現には、新たな設備投資や各種調査、私立施設との調整などが必要で、実現性を見極めていく。

笹本 真司 議員 (無会派)

質問時間 30分

一般質問 笹本真司議員(無会派)